

※ 数値はすべて速報値となります。

火災件数・焼損床面積・死傷者数など

区分		板橋区計			板橋消防署管内			志村消防署管内			
		5/31 現在	前年 同期	増減	5/31 現在	前年 同期	増減	5/31 現在	前年 同期	増減	
火災件数(件)	合計	73	70	3	34	32	2	39	38	1	
	建物火災	建物計	56	43	13	27	18	9	29	25	4
		全焼	2	1	1	1	1	0	1	0	1
		半焼	0	2	-2	0	1	-1	0	1	-1
		部分焼	8	6	2	3	2	1	5	4	1
		ぼや	46	34	12	23	14	9	23	20	3
	車両	2	1	1	0	0	0	2	1	1	
	その他	15	26	-11	7	14	-7	8	12	-4	
焼損床面積(m ²)		250	405	-155	45	301	-256	205	104	101	
焼損表面積(m ²)		182	174	8	81	41	40	101	133	-32	
死傷者数(人)	死者	2	2	0	0	1	-1	2	1	1	
	傷者	13	14	-1	7	6	1	6	8	-2	

出火原因別件数(板橋区内)

令和4年		
順位	区分	件数
1位	電気	20
2位	放火 (疑い含む)	13
3位	こんろ等	11
4位	たばこ	9

火災の概要

令和4年の板橋区内の火災は前年同期比で3件増加して73件となっており、残念ながら火災による死者も2名発生しています。

火災の原因としては電気機器やコンセント、コネクタなどを含む電気関係が引き続き多くなっており、生活に身近なものからの火災が多くなっています。

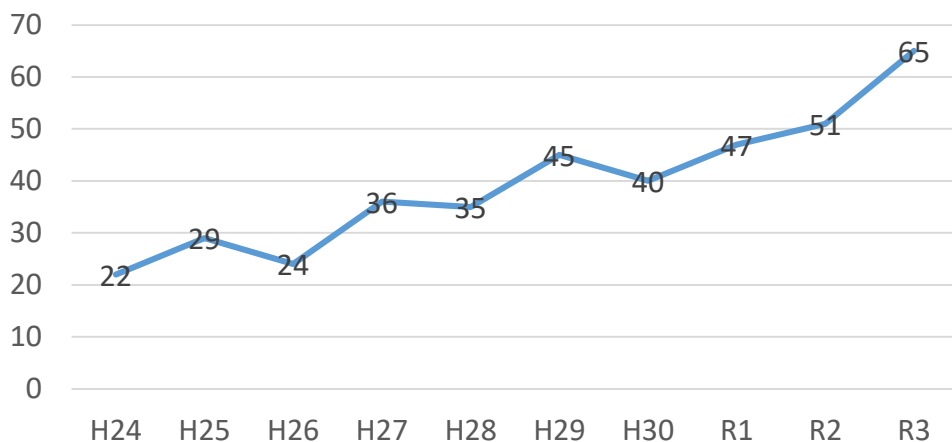
火災による被害を低減させるには、早期発見・早期通報が重要になってきます。住宅用火災警報器の点検や、コンセントの掃除、タコ足配線を避けるなど、大切な命や財産を守るため、日ごろから気を付けましょう。

増えています！電子レンジ火災！

東京消防庁管内では、電子レンジで食材を長時間過熱しすぎて火災になるなど、誤った使用による火災が増えています。

令和3年には65件（速報値）発生し、平成24年から令和3年までの10年間で、約3倍増加したことになります。正しく利用し、電子レンジによる火災を防ぎましょう。

電子レンジ火災の件数



電子レンジ火災を防ぐ普段の心得

さつまいもや中華まんなどは、長時間過熱すると爆発的に燃焼する危険性がある。取り扱い説明書等で加熱時間を確認する。

調理中はその場を離れずに、食品の様子を見ながら加熱する。

普段から電子レンジの周囲に可燃物を置かないようにする。

冷凍食品などは、包装の表示等を確認してから加熱する。

電子レンジ火災時の対応

扉を開けずに
電源を遮断する。

扉を閉めたまま、
あわてずに中の
様子を見る。

火が消えなければ、
扉を閉めたまま、消
火器具を用意する。

火災になった場合は、119番通報を実施してください。あわててレンジの扉を開け、燃えている物を取り出そうとして着衣へ着火し、死傷した事例もあることから、落ち着いた行動を心がけましょう。

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。落ち着いて、状況を確認してから対処しましょう。最初の措置が肝心です。

チェック1 熱中症を疑う症状がありますか？
 (めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温)



はい ↓

チェック2 呼びかけに応えますか？

いいえ →

救急車を呼ぶ



救急車が到着するまでの間に応急処置を始めましょう。呼びかけへの反応が悪い場合には無理に水を飲ませてはいけません

はい ↓

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

チェック3 水分を自力で摂取できますか？

いいえ →

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす



氷のう等があれば、首、腋の下、太腿のつけ根を集中的に冷やしましょう

はい ↓

水分・塩分を補給する

チェック4 症状がよくなりましたか？

いいえ →

医療機関へ



本人が倒れたときの状況を知っている人が付き添って、発症時の状態を伝えましょう

はい ↓

そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう



大量に汗をかいている場合は、塩分の入ったスポーツドリンクや経口補水液、食塩水がよいでしょう

「新しい日常」における熱中症予防のポイント

夏季の気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなります。このため、屋外で人と十分な距離（2m以上）が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、マスクを外すことも考えましょう。マスク着用時は、激しい運動は避け、喉が渇いていなくても、水分補給を心掛けるようにしましょう。



新型コロナウイルス感染症を予防するためには、冷房時でも換気扇や窓開放によって換気を確保する必要があります。この場合、室内温度が高くなるので、熱中症予防のためにエアコンの温度設定をこまめに調整しましょう。